

NO.	中長期目標 (重点目標)	短期目標 (重点課題)	指標 (具体的な方策)	評価	保護者 アンケート	評価	生徒 アンケート	評価	取組の考察	次年度改善点
1	生徒指導の徹底及び特別支援教育の充実を図る。	生徒の心をつかんだ生徒指導の推進と危機管理意識の徹底を図る。	講師を招聘しての職員研修会を実施する。	3.3	子どもさんは、毎日楽しく安心して学校に行っている。	3.3	毎日楽しく安心して学校に行っている。	3.4	発達障害・保護者対応・QUTテストについての職員研修会を計画的かつ効果的に実施することができた。	夏期休業中に、生徒・教職員の実態を考慮した職員研修会を継続して計画的に実施する。
			問題行動に対し、職員集団が一丸となり、組織的に対応できる体制を確立・推進する。	3.3					月1度の定例の生徒指導委員会や終礼を中心に諸問題に対して共通理解を図りつつ、組織的かつ迅速に対応してきた。	生徒理解を図りつつ、積極的な生徒指導を一層充実する。
		基本的な生活習慣の定着を図る。	身なりの徹底を図り、挨拶がきちんとできるようにする。	3.1	子どもさんは、集団としての規律やマナーが身に付いている。	3.2	集団としての規律やマナーが身に付いている。	3.1	各学年ごと、行事等に絡め、服装・頭髮等の点検、指導を行ってきたが一部の生徒がまだ、不十分である。	進路指導との関わりの中で、継続した指導が必要である。
		特別支援教育の充実を図る。	生徒一人一人の実態に応じた日常生活指導及び学習指導を行う。	3.1					個に応じた生活・学習指導を行うことができた。	実態の早期把握に努め、実態に応じた日常生活指導及び学習指導を行う。
2	基礎学力を確実に身につけさせる。	基礎・基本の定着及び学習意欲を喚起する学習指導の取組を充実する。	朝自習・総合的な学習の時間を活用して、全校あげて漢字力の向上に取り組む。「漢漢チャレンジ」定期考査前の質問教室を推進する。	3.6	子どもさんは宿題に取り組むなど家庭学習の習慣が身についている。	2.6	宿題に取り組むなど家庭学習の習慣が身についている。	2.7	どの学年も充実した取組ができた。	意欲の一層の喚起を促していく。「漢漢チャレンジ」の継続実施と「ワンブリ・デイ」の新規実施。
				2.4					取組が十分でなく、学年や教科によって偏りができた。	計画的な取組を行うとともに家庭学習の習慣を身に付けさせる。
			3年生において高等学校での一日体験入学を実施する。	3.5					3年生において高等学校での一日体験入学を実施した。進路についての意識付けに大きな効果があった	学習の意欲付けのためにも、引き続き実施する。
			チャイム席・学習規律の確立を図る。	3.4	子どもさんは、学校で落ち着いて学習に取り組んでいる。	3.0	授業中、集中して学習に取り組んでいる。	3.1	チャイム着席は確立されてきた。学習の道具忘れや授業態度の確立に多少、課題が残る。	学習規律の一層の確立を図る必要がある。
			生徒が授業に興味・関心を持って積極的に取り組めるよう工夫・改善を行う。	3.2	学校は、わかりやすい授業を心がけ、授業の工夫・改善に取り組んでいる。	2.8	授業が工夫されていてわかりやすい。	2.7	授業の工夫・改善への取組が保護者や生徒にはあまり理解されていない。	常に、生徒が授業に興味・関心を持って積極的に取り組めるよう継続して工夫・改善を行う必要がある。
3	心の教育の充実を図る。	人権教育の充実を図る。	全学年、講師を招聘しての講演会を実施する。	3.5	子どもさんは、思いやりの心が身についている。	3.2	思いやりの心を持って行動している。	3.1	全学年「命の大切さを学ぶ教室」、1年SYD出前講演「貧困と共に生きる子どもたち」、2年障害のある方による「生き方を考える」講演会等、講師を招聘し、生徒の心の内面にしみ入る講話を実施することができた。	次年度も生徒の実態を考慮した講師を招聘しての講演会を実施する。
			生徒対象の人権教育講演会を実施する。							
			教職員対象の人権教育研修会を実施する。（飛幡中校区小中合同人権研修会）	3.0					あやめが丘小学校での授業公開および講演会に参加した。	中学校校区小中合同人権研修会に参加する。
		学校環境の整備を図る。	掃除学習の徹底、美化コンクールを充実する。	3.0	学校は環境の整備に努めている。	3.0	学校をきれいにし、花を大切にしている。	3.0	毎学期下旬に計画していた美化コンクールは、2学期以降、大掃除に換え実施した。1学期のコンクールは意欲的にできた。	毎日の清掃活動や花いっぱい運動など自ら進んで学校の環境を整備し、きれいにしようとする心の育成を継続して行う必要がある。
			花いっぱい運動を推進する。	3.2					昇降口前、玄関、東門付近等、いっぱいの花で飾られた。	
		豊かな人間性を育む食育に取り組む。	特に、健康保持・増進と食習慣の定着を視点に、昼食指導や食に関する内容の放送、栄養掲示板の記入を行う。	3.3					健康保持・増進と食習慣の定着を視点とした、昼食指導や食に関する内容の放送、栄養掲示板の記入を毎回行うことができ、ある程度の成果もあった。	配膳・片付けや食事マナーの継続した指導が必要である。
		学校行事の見直しと生徒と触れあう時間の確保を行う。	教育相談は1・2学期の2回、クラスマッチは各学年・年間2回、及び長期的視野に立った部活動の活性化を行う。	3.5					1年生クラスマッチを年間1回の実施としたが、教育相談、クラスマッチ、部活動とも、充実した取組ができた。	平成24年度からの新学習指導要領の完全実施に向け、行事を精選する中で時間的ゆとりを持って、効果的な教育活動を一層推進する必要がある。
		総合的な学習の時間における体験活動を充実する。	1年生のふれあい合宿・社会見学、2年生の農泊体験学習・社会見学・職場体験、3年生の修学旅行等の体験的な学習を充実する。	3.6					各学年とも安全に充実した取組を行うことができた。	標準時数を若干上回っていたので、より精選した計画・実践が必要である。
4	保護者及び地域との一層の連携強化を図る。	地域に開かれた学校を推進する。	戸畑祇園山笠への職員及び生徒の積極的参加を図る。	3.3	学校は保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりに努めている。	2.9	できるだけ地域行事に参加している。	2.1	生徒の参加率がなかなか上がらない現状にある。	引き続き地域・家庭・保護者と連携しつつ、地域文化としての位置づけ等を訴え、進めていく必要がある。
			学校開放週間の内容の充実と地域への開放を推進する。	2.9					11月の学校開放週間には多数の参加があった。	学校の取組・実態を知っていただくためにも、より充実した公開を行う。
			沢見市民センターと連携して野菜や花づくりを実施する。	2.3					沢見市民センターと連携しての野菜作り、花作りを行った。	沢見市民センターの実態の応じた連携を継続して行う。